

(追加)

史料目録No. 3/2

調査資料
朝鮮銀行資料

日誌

戦争関係重要事項

自 昭和十八年四月
至 同 八月

73543

田中鉄三郎氏関係資料

旧番号
い24(429)1/2

金融史資料	
分類記号	IAx
整理番号	22(429)
資料名	田中鉄三郎氏 所蔵資料
保管容器	口108

研30009

通貨、金融史料	
分類	IBa ㄱ
整理番号	24/29
受入番号	い3612
名称	田中鉄三郎氏 所蔵史料
備考	

史料目録No. 3/2

補遺

四月十七日 土曜日

五三〇五 大東亞相香港・廣東着 青木大東亞相は午前十一時二十分香港着、總督部、海軍司令部を訪問、香港島を視察し午後三時空路香港發同三時五十五分廣東に到着、廣東總領事館及南支軍最高指揮官を訪問した
(五二六三)

四月十八日 日曜日

五三〇六 米驅逐艦三隻進水 米海軍省發表に依れば米驅逐艦ブロンソン、護送驅逐艦オスターハウス及パークスの三隻がニュージャージー州カーニ造船所に於て進水した
(五二七四)

戰爭關係重要事項日誌 第一七號

昭和十八年四月二十一日—二十六日

(958)



四月十九日 月曜日

五三〇七

青木大東亞相ハノイ着

青木大東亞相は海南島

經由午前九時三十七分ハノイに到着、午後芳澤大使と共にドクI總督を總督官邸に訪問、續いてドクI總督の答禮を受け午後五時半から芳澤大使主催の日佛印交驩茶話會に出席した

(五三〇五)

四月二十日 火曜日

五三〇八

カナダ空軍に關する英加協定

海外派遣カナダ

空軍の獨立に伴ひ其の維持費支辨に關する英加協定が英空相アイチボルド・シンクレアと駐英カナダ高等辨務官ヴインセント・マツシーとの間に調印せられた

(五二八〇)

五三〇九

大東亞相佛印總督共同聲明

青木大東亞相とドクI佛印總督は東亞の一般的事態殊に佛印の大東亞圈に於て負擔すべき使命に就て數次に亘り意見を交換し兩國の特殊關係を一層緊密ならし

めるが爲めに兩國の協力政策を更に強化すること重要なりとの點に就て意見の一致を見た旨の大東亞相竝に佛印總督の共同聲明が發表せられた

(五三〇七)

四月二十一日 水曜日

五三〇 英軍イランの軍事施設占領 イラン駐屯英軍司令官は、

イラン政府は英國軍に對する襲撃事件竝に怠業行爲其の他の陰謀を鎮壓する能力なきものと認めイラン國の凡ゆる軍事施設を占領し、今後舉動不審の者は容赦なく逮捕する旨布告した

(四六八六)

五三一 一九四二年中反樞軸國船舶喪失高

ハリー・トルーマンを長とする米國上院軍需實績調査委員會は一九四二年中に撃沈せられた反樞軸國船舶は約一千二百萬噸に上つて居り同年内に米英兩國が建造した船舶の全噸數を遙かに凌駕してゐる旨を發表した

(五二三七)

五三一 米高速力油槽船建造計畫 米海事委員會は前線補給用として特別に設計せられた高速力油槽船二百六隻の建造計畫を發表した (五一二八)

五三二 米墨兩大統領テキサス着 米キシコ北部モンテレーに於て會談したロ大統領並にメキシコ大統領カマチヨは二十一日同道テキサス州コーパス・クリスチ Corpus Christi に赴き同地の米海軍航空部隊基地を訪問カマチヨは午後歸國の途に就いた (五二九六)

五三一 米爲替安定資金存續法案下院可決 米下院は爲替安定資金二箇年延長案を同資金の直接的統制乃至管理の權限が大統領乃至財務長官に掌握されるやうな方法で同資金を使用せぬこととの條件を附して可決上院に回付した (五二五七)

五三二 米英相互援助狀況 英藏相キングスレー・ウツドは下院に於て議員の質問に答へ、租賃法に依り英國が米國から補給される物資及逆租賃に依り英國が米國に供給した物資に就ては價格算定を行つてゐない旨及一方租賃法に依るもの以外に英國が米國に於て軍需品購入のために支拂つた金額は十五億磅であ

る旨を言明した

(五二二〇)

五三一六 スベルマン大司教エルサレム着 スベルマン大司教は

アルジェールより空路エルサレムに到着した(五二八五)

五三一七 南阿に於ける印度人土地購入禁止法案 南阿ナタール、

トランスヴァール兩州在留インド人の土地購入禁止法案が南阿

聯邦議會に於て第三讀會を通過した (四八七〇)

五三一八 青木大東亞相サイゴン着 青木大東亞相は午前八時五

十八分ハノイ發午後零時三十分サイゴンに到着した

(五三〇九)

五三一九 昭和十七年度末預金部狀況 昭和十七年度末預金部狀

況は左記の如く貸方借方共に百八十一億二千五百二十一萬四千
圓なる旨大藏省から發表せられた(單位千圓)

合計 一八、二五、二一四 前年度末比較増 四、一五、九四、三九

郵便貯金及同切手收入金預金

一三、四一、二、四七九 前年度末比較増 三、三八、五、八七七

國債證券

一、二、八六、五、四六六 前年度末比較増 三、一、二、二、〇一七

(四九二四)

四月二十二日 木曜日

(963)

五三二〇 米爲替安定資金存續案上院可決 米國上院は下院から

回付された爲替安定資金二十億弗二箇年延長案を下院案通可決
直ちに白聖館に送付した、下院案には同資金を戦後世界通貨安
定へ五一六六)のために設置を提唱されてゐる五十億弗の國際
資金に流用を禁止する旨の條件が附されてゐる(五三一四)

五三二一 米租貸局企畫委員會次長モスクワ着 米國租貸局企畫
委員會次長ジエームズ・バインズはモスクワに到着した
(三五七四)

五三二二 駐米濠洲公使歸濠 駐米濠洲公使オイエ・ディクソ
ンはキヤンペラに到着した (二九八二)

五三二三 宋子文オツタワ着 重慶政權外交部長宋子文はオツタ
ワに到着した (四七三八)

五三二四 ヒットラー總統・スロヴァキア大統領會談 ドイツ總
統大本營發表に依ればヒットラー總統はスロヴァキア大統領子
ソイ博士 Dr. Josef Tiso、同首相ツカ Vojtech Tuka と會見ボル
シエヴイズム及英米金權主義に對する歐洲全體戰爭に關する諸

問題に就て重要協議を遂げた

(五二八一)

五三二五 駐西獨大使着任 駐スペイン・ドイツ大使デイコルフ

博士はマドリードに到着した

(五二七一)

五三二六 日高大使フダベスト着 日高大使はソフィアからフダ

ベストに到着した

(五二九〇)

五三二七 波蘭將校虐殺事件調査要求 ポーランド赤十字中央委

員會はジュネーヴの萬國赤十字委員會に對しポーランド將校一

萬名虐殺事件の調査方を要求した

(五三〇二)

五三二八 青木大東亞相バンコック着 青木大東亞相は午前九時

空路サイゴン發同九時四十分バンコックに到着迎賓館パントム

シン邸に入った、午後二時三十分外務省にグイジツト外相を、

同二時四十五分ピブン首相を官邸に訪問午後八時外務省に於る

外相主催の歡迎晩餐會に出席した

(五三一八)

五三二九 大政翼贊會副總裁 大政翼贊會副總裁安藤紀三郎氏は

依願解役後藤文夫氏が後任副總裁を委囑せられた

(五二九七)

四月二十三日 金曜日

(935)

五三三〇 英印度軍のアラカン作戦に於る損害 英印度軍司令部はアラカン作戦に於て戦死傷行方不明合計三千九百六名の損害を蒙つた旨次の如く發表した

死傷及行不明合計 三、五一四 (英軍一、五七三、インド軍一、九四二)
戦 死 三九二 (英軍一七二、インド軍二二一)

計 三、九〇六 (五二一六)

五三三一 米軍開戦以來の損害 米戦時情報局は開戦以來現在迄に戦死行方不明及俘虜となつた米陸海空軍の將兵は合計七万八千二百三十四名に達した旨を發表した (四八〇二)

五三三二 北阿米軍の損害 米陸軍省は米軍の北アフリカ作戦開始より四月初旬のエル・ゲツタール戦に至る迄の損害は戦死傷行方不明合計一万二千名に達する旨次の如く發表した

戦死 一、五〇〇 行方不明及負傷 一〇、五〇〇

計 一、二〇〇〇

(五二六八)

五三三三 赤軍參謀總長更迭

シヤボシユニコフ元帥に代りヴァシ

レウスキー A.M. Vasilievsky

元帥が赤軍參謀總長に任ぜられた

旨ソ聯政府情報局から發表せられた

(五一六三)

五三三四 米戰時生産局委員増員

口大統領は人的資源委員會委

員長マクナット、國防運輸局長官イーストマン、内務長官兼國

防石油調整局長官イツキースの三名を戰時生産局委員に任命し

た (五二四五)

五三三五 米石炭割當制實施決定

米政府當局は、近く石炭の割

當配給制が實施せられることとなり口大統領は石炭割當配給に

關する事務を擔當する新局を設置し同局長官に石油調整局長官

イツキースを任命した旨を發表した (五〇七一)

五三三六 波蘭軍將校虐殺事件に關する萬國赤十字社の聲明書

ジュネーヴの萬國赤十字社は關係各當事國が調査を進めること

に同意するならば同社は直ちに中立國の専門家を調査委員に任

命する用意ある旨回答したこの聲明書を發表した

(五三二七)

五三三七 青木大東亞相泰首相訪問

青木大東亞相は午前九時三十

分ビブン首相を官邸に訪問二時間餘に亘り會談、午後二時三十分坪上大使と同道ヴィジツト外相を訪問懇談した(五三二八)

五三八 文部大臣任命 岡部長景子が午後三時三十分宮中に於て文部大臣に親任せられた、東條首相は文部大臣兼任を免ぜられた

(五二九七)

四月二十四日 土曜日

五三三九 米大統領の罷業労働者に對する職場復帰命令 日大統領は二週間前から罷業續行中であるニュージャージー州Newark市の米國セラニーズ會社American Celanese Company工場、嶺山労働組合所屬労働者に對し二十六日正午迄に罷業打切りを命令した(四三六五)

五三四〇 米副大統領ミアミ歸着 米副大統領ウオーレスは空路ミアミに歸着した (五二八四)

五三四一 カナダ飛行機工場罷業 フォード自動車會社のウインザイ飛行機工場労働者約一万五千名は罷業を開始、同工場は操業停止の已むなきに至つた、罷業労働者は米國産業別組織會議系の自動車労働組合員である (四〇九六)

五三四二 羅駐日公使辭任 在東京ルーマニア公使館は駐日ルー

マニア公使チヨルデス・バダレスコ Georges Bagulesco 少將

辭任し同公使館陸軍武官ニコラス・ラツレスコ大佐 Colonel
Nicolas Radulesco が同國駐日代理公使となつた旨發表した

四月二十五日 日曜日

五三四三 米航空母艦レインデア撃沈 ドイツ總統大本營はドイ

ツ潜水艦が米航空母艦レインデア Ranger 一四五〇〇噸を撃沈
した旨發表した (四八五八)

五三四四 周訪滿特派大使一行南京着 國民政府訪滿特派大使一

行は午後空路南京飛行場に歸着した (五二九一)

五三四五 日泰共同聲明

青木大東亞大臣は四月二十三日以來バンコックに於てピン
ン首相竝にヴィジツト外相と數次に亘る會談を爲し決戦に對
する必勝の信念と共同の運命に立つ兩國の結束を再確認し戰
争完遂及大東亞建設のため共同に採るべき方途に就て完全な
る意見の一致を見た旨

の日泰共同聲明がバンコックに於て發表せられた

(98)

青木大東亞相はバンコックより空路ラングーンに到着、河邊最高指揮官を訪問後宿舎に於てバロー長官以下行政政府各部長と會談同夜最高指揮官の招宴に臨んだ (五三三七)

四月二十六日 月曜日

五三四六 ソ聯亡命波政權に斷交通告 ソ聯外務人民委員モロトフは註ソ亡命ボイランド政權大使ロメ^{Roemer}ルを招致、ソ聯政府は亡命ボイランド政權との外交關係を斷絶する旨を通告した (五三三六)

五三四七 反樞軸食糧會議英國代表 英國政府は外務次官ロイを

反樞軸食糧會議英國主席代表に任命した (五二五八)

五三四八 コンノイト公逝去 アイサー・コンノイト公 Prince

Arthur, Duke of Connaught はオツタワに於て逝去した、享年三十

九

五三四九 中華民國々民政府 天皇陛下に勳章御贈進 中華民國

國々民政府特派大使裕民誼氏は隨員三名を隨へ午前參内
天皇陛下に謁見仰付られ同光大勳章及汪精衛主席の親書を捧呈
した

(97)

五三五〇 大東亞相昭南着 青木大東亞相は午前九時十分空路ラ
ングーン發ペナン經由午後五時三十分昭南着宿會舊總督官邸に
入った

(五三四五)

戦争關係重要事項日誌 第十八號
昭和十八年四月二十七日—五月四日

(971)

補遺

四月二十三日 金曜日

五三五一 帝國海軍航空部隊エリス諸島攻撃 大本營發表
に依れば帝國海軍航空部隊はエリス諸島 Alice Group フナ
フ子島 Funafuti を攻撃全機無事歸還した(五一六七)

四月二十五日 日曜日

五三五二 病院船プエノスアイレス丸敵潜水艦に襲撃せらる
病院船プエノスアイレス丸が南支那海を航行中午後三
時三十五分敵潜水艦の魚雷攻撃を受け左舷機關部至近距
離で爆發し左舷機關は停止し收容患者中に十數名の重傷
者を出したが右舷機關のみに依り某地に引返へした

(五二三五)

五三五三 フリッツプス特使印度出發 口大統領特使フイ

フリッツプスは夜印度某地を出發歸米の途に就いた
(四五二三)

四月二十六日 月曜日

五三五四 米軍エリス群島占領 米海軍省代辦者は米軍が

五三五五 エリス群島を無抵抗で占領した旨言明した(五三五一)

五三五六 艦イントレピッド號二萬五千噸が進水した(五三〇六)

五三五六 米公債發行高 米財務省の發表に依れば現在迄

に米國內に於て發行された公債高は一千二百五十一億三

千五十七萬二千弗に達した、右に依り公債發行限度一千

二百五十億弗を一億三千餘萬弗超過した譯である

(三四二五)

四月二十七日 火曜日

五三五七 敵機ビルマに來襲 ノースアメリカンB二五型飛行機

丸機がメイクテイラ附近に來襲したが内一機は我戦闘機隊に因

り撃墜せられた (四八五三)

五三五八 英航空母艦就役 英海軍省當局は航空母艦インドミタ

ブル二萬三千噸が就役してゐる旨及同艦は本國艦隊航空戰隊旗
艦として司令官アイサイ・レスタ少將が坐乗し最近セイロン
島にハリケーン飛行機を輸送した旨を發表した(五二二六)

五三六〇 反樞軸國船舶減少高 米海軍省は、現在入手し得る限
りの統計に依れば一九四二年中に樞軸軍に因り撃沈された反樞
軸國船の合計から同期間の反樞軸國に於ける船舶建造高を差引
けば約百萬噸の缺損となつてゐる旨を發表した(五三一)

五三六〇 米炭坑労働者罷業開始 ペンシルヴェニア州を中心と
する米國東部地方炭田に於る鑛山労働組合所屬坑夫約九千名が
罷業を開始した (四九〇五)

五三六一 獨總統クロアチア首相會談 ドイツ總統大本營公表に
依れば、ヒットラー總統はクロアチア國首相アンテ・パヴエリ
ツチ博士と會談した (五三二四)

五三六二 日高大使着任 日高駐伊大使は午前十時三十分ウイ
ンよりローマ驛に到着した (五三二六)

五三六三 英本國並に英領各地に於る抑留邦人數 英本國、英領
東阿、印度、濠洲、ニュージールランドに於る抑留邦人數は總計

五千六百二十二名に達する旨外務省から發表せられた

(974)

五三六四 支那事變以來の國民貯蓄額 賀屋藏相は閣議に於て、

支那事變以來（昭和十二年七月以降）昭和十七年度末迄の國民

貯蓄額は七百三十億圓に達する旨報告した（四六四四）

五三六五 重要産業協議會會長 重要産業協議會會長平生飢三郎

氏は辭任、石炭統制會會長松本健次郎氏が後任會長就任に決定した

四月二十八日 水曜日

五三六六 帝國陸軍部隊の山西、河南、河北方面に於る綜合戦果

大本營發表に依れば帝國陸軍部隊は山西、河南省境に於る蔣

系第二十四集團軍約八萬及山西察哈爾河北省境に於る共產軍約

一萬五千に對し四月中旬作戰を開始した、四月二十八日迄に判

明せる綜合戦果は次の通りで我方の損害は戦死九十六名である

遺棄死體 約五〇〇〇 俘虜 新編第五軍長孫殿英以下

約七六〇〇
二〇〇 小銃 約四〇〇〇
鹵獲品 各種火砲 一九 重輕機關銃 (975)

五三六七 帝國陸軍航空部隊の雲南飛行場に於る戦果 (四六七五)

表に依れば帝國陸軍航空部隊は四月二十六日及二十八日雲南飛行場に集結中の米空軍を奇襲し次の戦果を収めた、我方の損害は自爆及未歸還機各一機

擊墜 五 地上擊破及炎上 四一 軍事施設爆碎及炎上 二

五三六八 アリュイシヤン列島方面に於る米加兩空軍の協力 (四三三二)

政府當局はアリュイシヤン列島の日本軍基地攻撃にカナダ空軍が米軍に参加協力してゐる旨を發表した (五二五四)

五三六九 英のバルト海に於る機雷敷設 英空軍省の發表に依れば英軍は夜バルト海の廣汎な區域に亘つて機雷敷設した (四七九八)

五三七〇 米驅逐艦進水 米海軍省當局は、太平洋岸の某造船所

で驅逐艦ホウターが進水した旨發表した (五三〇六)

五三七一 在支米軍司令官歸米 米陸軍省發表に依れば重慶派遣

米軍司令官ステルウエル並に在支米空軍司令官シエンノートは

重慶から空路華府に歸着した (四九〇四)

五三七二 米嶺山労働組合の總罷業指令 米國嶺山労働組合會長

ジョン・ルイスは四十五萬の組合員に對し五月一日を期して總

罷業を行ふ様指令した (五三六〇)

五三七三 パラグアイ大統領ブラジル訪問 (五一〇〇)

リニゴはブラジル訪問の途に就いた (五一〇〇)

五三七四 氷島政府獨立意向表明 アイスランド政府當局は、一

九四四年六月同國はデンマーク國から離脱して完全に獨立する

意向である旨を發表した (三八五一)

五三七五 駐芬帝國公使更迭 駐フィンランド帝國公使は更迭駐

南京大使館參事官中村豊一氏が特命全權公使に任ぜられフィン

ランド國駐劄を仰付られた

五三七六 褚民誼氏東京發 國民政府特派大使褚民誼氏は早朝東

京發空路歸國の途に就いた (五三三四九)

五三七七 徐良氏東京發 前駐日國民政府大使徐良氏は午後東京

驛發歸國の途に就いた (五一〇三)

五三七八 中華民國駐劄帝國大使 谷正之氏が特命全權大使に任

ぜられ 中華民國駐劄を仰付られた (五三三八)

五三七九 青木大東亞相昭南發 青木大東亞相は二十七日午後昭

南神社に參拜、サルタン王宮に於て現地部隊長よりシンガポ

ル攻略戦を聽取し戦跡視察後忠靈塔に參拜午後八時部隊長の招

宴に臨み二十八日午前九時空路昭南發午前十時に到着した (五三五〇)

五三八〇 樞密顧問官任命 大日本産業報國會會長平生夙三郎氏

は樞密顧問官に親任せられた (五三六五)

五三八一 行政查察使 國務相鈴木貞一氏が行政查察使を仰付ら

れた、第一回の行政查察は五月十日頃から數日間に亘り神奈川

縣廳、横濱海務局等の官廳及横濱川崎兩市の重要工場を中心と

して實施せられる豫定である (四九八三)

四月二十九日 木曜日

五三八二

米新造主力艦二隻第三次ソロモン海戦に参加

米海軍

次官フォレストは米國の最新鋭快速主力艦二隻が一九四二年十一月十四日夜オダルカナル島沖海戦（四九二八）に参加した旨を発表した（三九三七）

五三八三

米大統領の炭坑罷業労働者に對する決意表明

口大統領

領はメキシコ訪問及全國視察旅行を終へて華府に歸着直に米國鑛山労働組合會長ルイス（四九〇五）に、五月一日午前十一時迄に復業せぬ労働者に對しては大統領並に米軍總司令官として有する凡ゆる権限を發動して國家權益の擁護と戦争遂行に對する妨害の防止に努める意向なる旨を通告した（五三七二）

五三八四

米國造船業狀況 米海軍委員長ランドは米國造船專業

の近況に就て、大洋航行船舶を建造する造船所は現在米國に三十以上あり此等の造船所にある造船臺は二百五十以上に達し其の他にも小造船所を建造する造船所が四十ある、又商船の部分品並に造船資材を生産してゐる工場は約一千で此等の工場労働者を合めて艦船の建造並に修理に直接關係從事してゐる人数は

約二千五百萬に上る、一九四二年十一月一日に遡る一年間に戦時海運局は千四百八十二隻を修理し三千五百六十隻を補給した旨を發表した (五三一)

五三八 米軍需工業に於る死傷者數 米戦時生産局は開戦以來現在迄の米國軍需工場内に於る事故に因る死亡者數は六萬四千名で負傷者は六百萬に上る旨を發表した

五三六 重慶政權技術團着米 米國經濟戰爭會議會は重慶政權技術團一行三十二名が華府に到着した旨を發表した (五二四七)

五三七 獨宣傳相獨の東部戦線作戦遂行の決意表明 ベルリン二十九日發同盟電に依ればケツベルス・ドイツ宣傳相は週刊「ス・ライヒ誌」上に於て、歐洲の大半はしつかり我々の掌中にあるつて一切の危険な境界線には巨大な要塞線が構築されてあるのでドイツ軍は何等妨げられることなく東部戦線に於て作戦を遂行し得る旨を述べた (五二四九)

五三八 ソ聯ブジョンヌイ元帥六十回誕辰 ソ聯最高會議幹部會議長カリニンはクレムリン宮に於てブジョンヌイ元帥に六

十回誕辰を祝福してレーニン章を授與した

五三八九 青木大東亞相昭南着 青木大東亞相は夕チン視察を終り午後一時半再び昭南に到着、セラタ軍港に海軍部隊長を訪問、同軍港を視察した (五三七九)

四月三十日 金曜日

五三九〇 米佛領西印度諸島に對する態度表明 米國務長官ハルは、米政府はアメリカ、フランス兩政府間に於て調印された佛領西印度諸島問題に關する凡ゆる協定を廢棄する旨を發表した (三九一一)

五三九一 米嶺山労働組合會長の口大統領宛回答 米嶺山労働組合會長ルイスは口大統領の罷業打切に關する命令に對し、炭坑組合は交渉繼續中は作業を續行したいが炭坑主從來の態度に徴し懸案の平和的解決は不可能である、従つて罷業の責任は炭坑主側にある、同時に戦時労働局も時期尚早且つ不公平な裁断を下した點で責任を免れない旨を回答した (五三八三)

五三九二 米農村軍豫算案成立 口大統領は二千六百十萬弗の農

(980)

村軍關係豫算案に署名した

(五〇四四) (981)

五三九三 米銀塊を英に譲渡 米租貸局次長ステッチニアは米
國政府は二百萬オンスの銀塊を英國に譲渡することをなつた旨
を發表した (五二二七)

五三九四 米墨經濟協定調印 米國務省は米國とメキシコ間に左
記の如き經濟協定が調印せられた旨を發表した

一、兩國代表を以て經濟委員會を設置し國濟決濟並に以上に基
くメキシコ共和國の經濟情勢を検討し經濟合作案を起案す
る

一、委員會はメキシコ市又は華府に於て會議を開催し兩國政府
は一切の必要な情報を之に提供する

一、委員會は五月十五日開會し六月十五日迄に審議を完了する
(四九七七)

五三九五 コロンビア駐ソ公使任命 コロンビア國政府は元駐日
公使アルフレッド・ミツチエルを駐ソ公使に任命した旨を發表
した

五三九六 獨伊佛會談 ドイツ總統大元營は、フランス政府主席

ラヴアル氏がリツベントロツプ・ドイツ外相・パスティア(982)ニ・イタリイ外務次官列席の下に二十九日總統大本營に於てヒットラー總統に引見せられ(三八二六)、三國代表はドイツ、イタリイ兩國とフランス國との間に現存する問題に就て理解を示し、運軸各國がボルシェヴィズムと結託する米英の全權主義に對する抗争を遂行し、新歐洲の再建に當りフランス國が如何なる役割を分擔するかに就て検討が加へられ、又右貢獻に由りフランス國の受くべき利益も討議された旨を發表した

(五三二四)

五三九七 トランス・ヨルダン王の大シリア國建設提唱 トランス・ヨルダン王アブダラ・イブン・フサインはトランス・ヨルダン及イラク兩國の新報紙上に於てトランス・ヨルダン、シリア、レバノン、イラクの四箇國を合併して大シリア國の建設を提唱した

五三九八 スイス西亞及東亞向郵便物取扱停止 スイス遞信省はトルコ國內に於る郵便物福湊のため今後トルコ、サウヂ、アラビヤ、イエメン、イラン、滿洲國、支那、日本、佛印、泰各國境の郵便物は取扱はず、既に發送済の郵便物もスイス國に回

送られる旨を發表した

(三八五〇) (983)

五三九九 丁抹大北電信會社海底電信陸揚權消滅

大北電信會社が明治四年以來保有して來たウラジオストツク及上海よりの海底電信線の長崎に於る陸上權が四月三十日を以て期限満了し同社に依る我國との海底線業務は全廢されることとなつた

五四〇〇 昭和十八年度物資動員計畫並に交通動員計畫 昭和十

八年度物資動員計畫並に交通動員計畫が閣議に於て決定即日上海御裁可を得情報局から發表せられた (二七四七)

五四〇一 三月末國庫現計 大藏省發表に依れば三月末昭和十七

年度一般會計國庫歲入歲出現計は左記の通りである (單位千圓)

歲入總計	六五六〇六八	前年度比較増	六六三二一四
歲出總計	三〇〇八一四二	前年度比較減	一〇〇〇三〇

(五一一九)

五月一日 土曜日

大本營は帝國

五四〇二 帝國潜水艦の西南太平洋に於ける戦果
潜水艦が四月下旬西南太平洋に於て敵輸送船二隻（一万二千噸級一隻・六千噸級一隻）を撃沈した旨發表した
（四五八四）

五四〇三 敵機ラングーンに來襲 午後コンソリデーテッドB二
四型八機がラングーンに來襲内一機は我戦闘機隊に因り墜墜せ
られた
（五三五七）

五四〇四 英驅逐艦喪失發表 英海軍省當局は英驅逐艦ビバリー
一一九〇噸を喪失した旨發表した
（五二二四）

五四〇五 米驅逐艦進水 米海軍省當局は驅逐艦ホーブウエルが
東部沿岸の某造船所に於て進水した旨發表した
（五三七〇）

五四〇六 米租貸法の實績 米租貸局次長ステツチニアスは租貸
法の實績に就て、租貸法に基き外國に輸送された重要軍需品は
合計百三億千九百万弗に達し、内五割五分は武器彈藥、二割七
分は工業製品、一割五分は食料品、残りは他の農産物で、最大

の援助を受けたのは英國で次はソ聯である旨を發表した
(四九一三)

五四〇七 駐米ソ聯大使華府發 駐米ソ聯大使リトヴィノフは空
路華府發モスクワへ歸還の途に就いた (五一七九)

五四〇八 泰國クローチア國を承認 クローチア國外相ミレ・ブダクは、
泰國政府から同國がクローチア國を承認し外交關係を確立すること
となつた旨の電報を接受した旨を發表した (五三六一)

五四〇九 華北敵産國民政府に移管 華北に於る敵産中第三種に
屬する一般關係九件、教化關係六百三十七件を國民政府に移管
することとなり北京に於て午前十時半鹽澤公使から宋深敵産所
理委員會委員長に移管の手續を取るご同時に各地に於ても現地
部隊長から夫々省、市長に移管の手續を取つた (四五六〇)

五四一〇 青木大東亞相パレンバン着 青木大東亞相は午前十一
時空路パレンバンに到着した (五三八九)

五四一一 陸軍異動 土肥原賢二大將が東部軍司令官兼軍事參議
官に、安田武雄中將が陸軍航空總監兼陸軍航空本部長に、寺本

熊市中將が航空軍司令官に親補せられた (三二六三)
大東亞戦争公債八億圓發行
大東亞戦争公債八億圓が預
金部及日本銀行引受に依り發行せられた (五三〇〇)

五月二日 日曜日

五四一三 帝國海軍航空部隊濠洲空襲 大本營發表に依れば帝國海軍航空部隊はボート・ダーウインを空襲し敵戦闘機二十一機を撃墜した、我方に損害なし (五一〇六)

五四一四 米航空母艦進水 米護送用航空母艦コラル・シー Coral Sea が西海岸の造船所に於て進水した (五四〇五)

五四一五 米大統領放送演説 口大統領は午後十時から二十分間白聖館から全米に向け放送演説(四七二五)を行ひ、戦争は既に危機の段階に入つて居り石炭の生産を中止することを許さない、労働總同盟、産業別組織會議、鑛山労働組合は戦争が續く間罷業は行はないと公約したに拘らず今回罷業に入つた、愛國心ある炭坑夫諸君が自由意志で復業することを希望する、復業する場合には彼は此等の坑夫を保護し勞務契約は現行契約に基き四

月一日に遡及させるであらう旨を述べた (五三九一)

五四一六 米嶺山労働組合會長内務長官會談其の他 米嶺山労働組合會長ジョン・ルイスは政府當局の要求に應じ組合の領袖三名と共に内務長官ハロルド・イツキーズを訪問二時間に亘り會談した

米嶺山労働組合會長ジョン・ルイスは口大統領の放送演説直前に罷業中の炭坑労働者に對し、目下罷業中の炭坑労働者は四日朝から十五日間復業せよ、此の期間中に賃金値上に關する問題が解決される筈であるが若し解決されなければ我々は再び罷業を開始するであらう旨の指令を發した (五四一五)

五四一七 米自由船塲建造所要日數 米上院戦争調委員會委員長トルーマンは、船舶建造所要日數は造船所に依つて著しい相違があり、オレゴン州の一造船所では一隻平均三十万三千八百五十八労働時間を要し海軍造船所では同型船一隻を建造するのに百六十二万六百七十九労働時間を要してゐる旨を發表した (五三八四)

五四一八 青木大東亞相パレンバン發 青木大東亞相は午前九時十七分空路パレンバンを出發した (五四一〇)

五月三日 月曜日

(988)

五四一九

帝國潜水艦の西南太平洋に於る戦果

大本營は帝國海

軍潜水艦が四月下旬更に西南太平洋に於て油槽船(一萬二千噸級)一隻を撃沈、五月に入り運送船(一萬二千噸級)一隻、貨物船(八千噸級)一隻を撃沈した旨を發表した(五四〇二)

五四二〇

獨海軍の四月中の戦果 ドイツ海軍は四月中に於て反樞

軸國商船六十三隻四二三〇〇噸を撃沈、内六十一隻四一五〇〇噸は潜水艦に因る旨ドイツ軍當局から發表せられた

(五一〇七)

五四二一

英潜水艦撃沈 英海軍省當局は、潜水艦タービュレ

ント Turbulent が豫定の期日を過ぎても歸還しないので撃沈されたものと信ぜられる旨を發表した (五四〇四)

五四二二

米軍需品生産狀況 米戦時生産局長官ネルソンは、本

年第一四半期の軍需品生産高は一年間の生産豫定高の一八%にしか達しなかつた、三月中の飛行機及船舶生産は新記録を作り飛行機六千二百機、船舶百五十七隻が建造された、三月中の軍需品生産は前月に比し夫々増加を示し、三月以後も一二箇月間

は相當の生産増加を期待出来るが併し此の増加は現在の狀勢では長くは繼續され得ない、其の最大の原因は鋼鐵不足で鋼鐵の生産は最早其の最大限に達し此れ以上の増産は望めない旨を發表した (五〇〇二)

五四二三 米フォード戰車工場罷業 米國フォード自動車會社デ

トロイド戰車工場従業員五千名は罷業を開始した、原因は會社側が労働者側の反對を無視して夜間労働に關する新規則を制定した爲めである (五四一六)

五四二四 米航空機工業に於る男女労働者の割合 米人的資源委

員長マクナットは、米國の航空機工業に於る労働者總數に對する女子労働者の割合は戰前僅かに二%であつたが現在では三分の一に達してゐる、將來半分迄は女子にすることが出來よう旨を言明した (四〇六五)

五四二五 米コンクリート船の性能 米海軍委員會はコンクリー

ト船の性能に就て、コンクリート船には現在C1型からC4型まであり、C1型は最小で速力五節、C2型は大体八千總噸速力一五・五節、C3型は一萬一千五百重量噸速力一七・五節最

大速力二〇節、04型は最新型で性能は公表出来ない旨を發表
した (五一二八)

五四二六 宋美齡華府着

宋美齡は華府に到着した (五〇四五)

五四二七 ポリヴィア大統領訪米

ポリヴィア大統領ベニヤラン
に到着した (五二〇四)

五四二八 英國に於る労働徴用強化

英國労働相ベヴィンは労働
徴用強化に關して、政府は八日から五十歳迄の男子及幼兒を有
せざる四十五歳迄の婦人を徴用することとなつた、既婚婦人は
英國に残された唯一の人的豫備資源であつたため今回の徴用令
に包含されるに至つた譯である旨を述べた (四三〇三)

五四二九 波蘭軍將校虐殺事件調査

ドイツ政府の委囑により歐
洲の法醫學者を以て組織された調査委員會は四月二十八日から
三十日迄にスモレンスク近郊カトウイン森に於るポーランド將
校の共同墓地七箇所を發掘し屍体四千九百八十二個を解剖に付
したるに死因は悉く後頭部の銃彈貫通に因るもので附近住民の
證言及屍体に發見された手紙、日記、新聞等に依り一九四〇年

三月中に銃殺されたものと推定せられる、尙發掘屍体の七割迄は氏名が判明した旨獨軍當局から發表せられた

(五三四六)

五四三〇 滿洲國皇帝陛下新京御發 滿洲國皇帝陛下は安東省地方等御巡狩のため午前七時三十分新京驛御發車奉天經由午後六時二十五分安東驛に御着、御泊所に入らせられた

五四三一 生産擴充、國民動員、電力動員の三計畫 昭和十八年度生産擴充計畫、國民動員計畫及電力動員計畫の三計畫が閣議に於て決定せられた

(五四〇〇)

五月四日 火曜日

五四三二 米機北部佛印に來襲 在支米空軍は午前午後の二回に亘り北部佛印に來襲した

(五二四三)

五四三三 獨軍クルイムスカヤ撤退 獨軍當局の發表に依ればクバン地區の獨軍はクルイムスカヤ(ノヴオロシースク東北)を撤退した

(四九一九)

五四三四 樞軸軍マツール撤退 ドイツ總統大本營は樞軸軍が予

ユニシア戦線のマツールを撤退した旨發表した

(五一七)

五四三五 マダガスカル島資源利用協定 米國政府當局は、米國

英國竝にフランス國民委員會はマダガスカル島の資源利用に關し協定に到達した、其の結果同島の資源は反樞軸諸國の利益のために使用されることとなつた旨を發表した(三九三八)

五四三六 米内務長官炭坑労働者の労働條件變更承認 米内務長官イツキーズは罷業炭坑労働者側の復業開始後に於て炭坑労働者の労働條件を次の如く變更する旨竝に炭坑經營者に對しては

右に因る生産費増加に鑑み炭價引上を許可する旨發表した

一、全國炭坑業に一週六日労働制を實施する(從來は一週五日制)
二、一週六日の内最後の一日の労働に對しては時間外労働の規定に準じて割増賃金を支拂ふ

五四三七 米上陸用舟艇建造豫算案 米上院海軍委員長デウイド・ウォルシュは海軍上陸用舟艇百萬噸の入手、改装乃至建造に關する十四億二千二百萬弗の豫算案を上院に提出した

(五一六九)

五四三八

米國源泉課税法案

米國下院は民主黨下院議員ロバ

(993)

ト・ドートン提出の源泉課税法案を可決した、同法は七月一日から實施されるもので所得税納入者は一九四三―四年度分として俸給の二割を天引されるが納税者の負擔過重を避けるため一九四三年度の納税額を一九四二年度の率に迄引下げ三箇年に亘り分割納入する規定が設けられてゐる (三六八七)

五四三九

昭和十七年度國民貯蓄實績

昭和十七年度國民貯蓄増

加目標額二百三十億圓に對する國民貯蓄増加實績は目標額を四億五千七百萬圓超過した旨大藏省から發表せられた

(二三七九)

戦争關係重要事項日誌 第二十號
昭和十八年五月十二日—十八日

補遺

五月十一日 火曜日

五五二七 中支軍の洞庭湖畔に於る戦果 大本營發表に依

れば中支軍は洞庭湖畔の重慶軍約七萬に對し進攻作戰實

施中のごころ五月五日より同十一日迄に次の戦果を收め

た、我方の損害は戦死百六十八名である

遺棄死體一三一〇 俘虜一三〇〇

鹵獲品 各種火砲一三 重輕機關銃一四五

小銃一四五八 (五〇一六)

五月十二日 水曜日

一五二八 米軍アツツ島に上陸開始 大本營發表に依れば有力な

る米軍部隊がアツツ島に上陸を開始し同島守備の我部隊と目下激

戦中である

米國政府當局の發表に依ればアツツ島に上陸した米軍の指揮官はアラスカ防備司令官少將サイモン・ポリバー・バツクナー

Simon Bolivar Buckner である (五三六八)

五五二九 米ガダルカナル島陸軍司令官更迭 米陸軍省當局は、

ガダルカナル島米陸軍部隊司令官准將アレクサンダー・エム・パツチ Alexander Patch は最近本國に歸還して第四軍司令官に就任し、第四軍司令官少將オスカ・ダブルユー・グリスウオール Criswall が後任司令官として着任した旨を發表した(五四七八)

五五三〇 ウルグアイ對佛斷交 ウルグアイ政府當局は駐佛同國

代理公使ルイス・ドブイの本國歸還と共にフランス政府との國交を斷絶するに至つた旨を發表した (四四二九)

五五三一 ローズヴェルト・チャーチル華府會談 ロ大統領秘書

アーリーの發表に依ればロ大統領とチャーチル首相は會談を續行して居り、チャーチルに隨行した専門委員は右會談と併行して會議を開催してゐる、同秘書はチャーチルの隨員を左記の如く發表した

印度派遣英軍總司令官

元帥サー・アーチボルド・ウエイヴェル

Sir Archibald P. Wavell